

# 教育と福祉の よりよい連携をめざして

川崎市教育委員会事務局  
学校教育部支援教育課小中高等学校支援教育担当

# 内容

1. 障害のある子どもたちの学びの場
2. 学校と放課後等デイサービスとの連携



# 障害のある子どもたちの学び場

# 障害のある子どもたちの学びの場

- 川崎市では、一人一人の教育的ニーズに応じた多様な学びの場を用意しています



通常の学級



通級指導教室



特別支援学級



特別支援学校

特別の教育課程を編成

# 学びの場の体制（特別支援学級）

- 法令により、学級種別ごとに 8 名までで 1 学級が設置され、担任は 1 学級 1 名が原則です。
- 多くの学校では、小集団指導や集団学習を中心に、必要に応じて個別的学习の時間を取り入れています。
- 交流及び共同学習(通常の学級での学習)については、お子さんの状況と学校の状況から内容や形態を相談します。



# 小中学校特別支援学級の特別の教育課程

学校教育法施行規則 第138条

特に必要がある場合は

特別の教育課程によることができる

平成29年告示  
新学習指導要領もぜひ参考  
にしてください

## 原則

小学校又は中学校の教育課程に基づいて編成をする

子どもの障害の状態を考慮し、特に必要がある場合

## 特別の教育課程

各教科の内容の工夫  
適切な教科書の使用  
各教科を合わせた指導  
各教科等を合わせた指導  
自立活動



# 支援教育コーディネーター

- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに寄り添い、担任をはじめとする教職員や保護者、関係機関と連携して、児童生徒がよりよい学校生活が送れるよう環境を整えていく存在。



児童指導

- 児童からの相談・指導



特別支援教育

- 個に応じた学習支援



教育相談

- 保護者などからの相談対応

# 学校と放課後等デイサービスとの連携



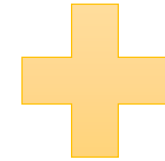
# 障害のある子どもたちの一日も変化

幼稚園

保育園

小中学校

特別支援  
学校



放課後等  
デイサービス

- 児童発達支援や放課後等デイサービス等で、療育や余暇を過ごすことも多くなった。

教育と福祉の連携は益々求められてくる



# 学校と放課後等デイサービスの目的

## 学校

- 教育基本法や学校教育法などの法令に従って教育課程を編成。
- 特別の教育課程

学校教育法施行規則第138条

特に必要がある場合は、

特別の教育課程によること

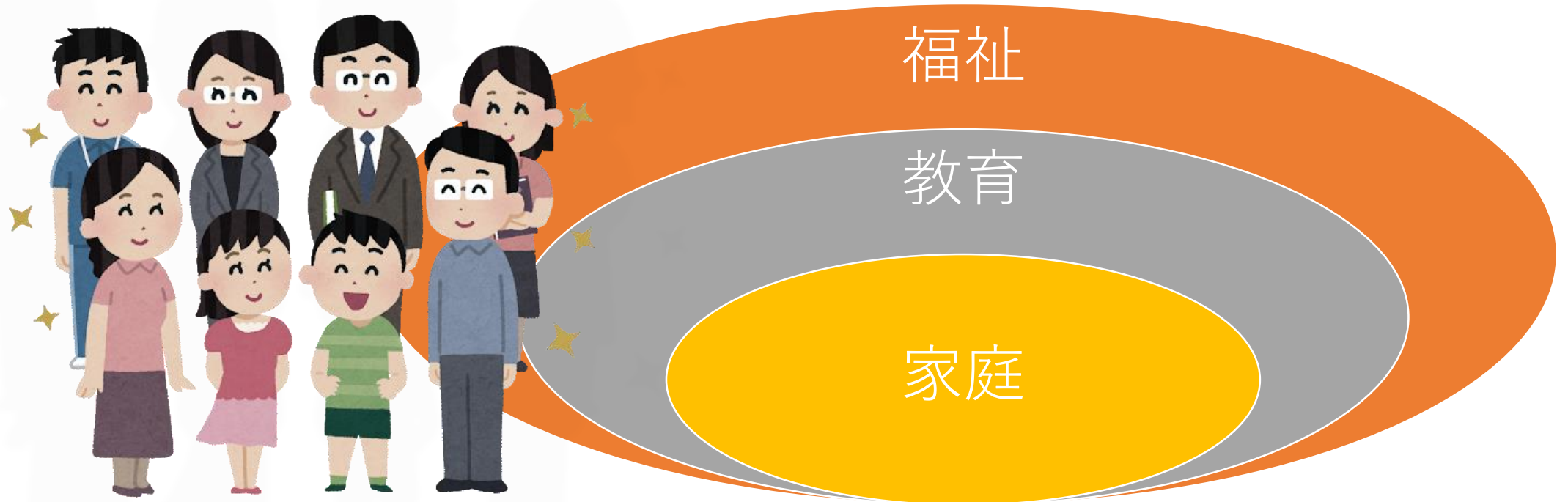
ができる

## 放課後等デイサービス

- 平成24年4月に児童福祉法に位置づけられた新たな支援で、学校に就学している障害児に、授業の終了後又は休業日に、生活の力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること（国ガイドラインより）

# 地域で切れ目なく支援が受けられるために

- 家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト  
(平成30年5月24日付け30文科初第357号・障発0524第2号)



# より一層の充実を目指して

- 川崎市における障害児通所支援事業所と学校との連携の基本的な考え方について（通知）

令和2年3月13日付 教育委員会・健康福祉局

- 顔の見える関係の構築（教育と福祉の関係者）

## <連携の基本的な考え方（抜粋）>

- （1）子どもの権利を最大限に尊重
- （2）守秘義務遵守
- （3）窓口の明示
- （4）目的の明確化
- （5）個別教育指導計画にかかわる連携

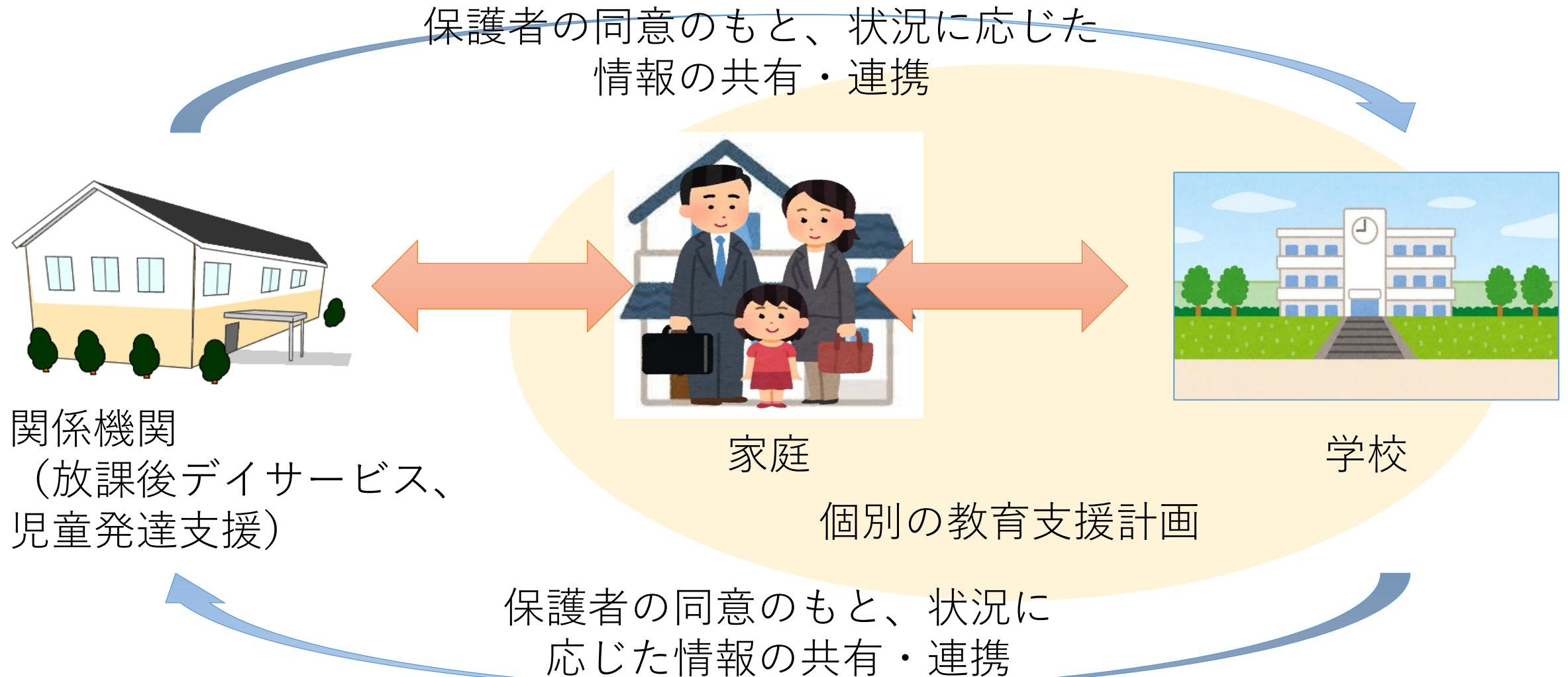


# 学校と障害児通所事業所との連携

1. 基本的に保護者を介して連携する  
(保護者が学校と事業所に連携要請をしたり、学校が保護者の了解をとって事業所と連携をしたりする)。
2. 窓口を明示する (管理職またはコーディネーター)。
3. 事前に保護者や事業所と、連携の目的を確認する。
4. 個人情報の取り扱い・保護について確認する。
5. それぞれの業務に支障が出ない範囲で行う。
  - \* 参観、情報交換 (送迎時等)、ケース会議など
  - \* 送迎時刻・場所の確認など



# 個別の教育支援計画を活用した連携



# 個別の教育支援計画

- 障害のある児童生徒一人一人のニーズを把握し、長期的な視点で支援していくという考えのもと、学校が中心となって関係機関と連携し、的確な教育を行うための計画です。
- 基本的に保護者が保管しています。



**サポートノート**

個別の教育支援計画 記入例



記入例の見方  
・斜体文字は記入の見本です。  
・□やふきだしの中は記入に際しての注意です。

氏 名	
作 成 年 月 日	年 月 日



# ご清聴ありがとうございました

障害のある子どもやその保護者が地域で切れ目なく支援が受けられるよう、家庭と教育と福祉の一層の連携を



家庭



学校・授業



地域